



せいひ会だより

2010年(平成22年)
7月1日発行
<第123号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>

行ってきました

花菖蒲 大村公園

観てきました

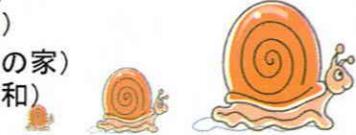
そしてしっかり食べました



6月10日大村公園に行ってきました。
およそ30万本（西日本一だそうです。）の花菖蒲は壮観でした。
ジメジメした梅雨のなかで、思い出すと心もなごみます。
おみやげの定番「梅ヶ枝餅」もしっかり買ってきましたよ。

6月の行事

- 2・16日:書道教室(元亀)
- 10日:大村公園花菖蒲バスハイク(通所・GH)
- 12日:誕生会(元亀・通所)
- 13日:芋さし(GH)
- 15日:歌の発表会(風和)
- 18日:GH運営推進会議
- 20日:父の日(全事業所)
- 22日:消防総合訓練(丘の家)
- 25日:消防通報訓練(風和)



7月の行事予定

- 陶芸教室
- 七夕(全事業所)
- そうめん流し(通所・丘の家・GH合同)
- 誕生会
- 書道教室
- 避難訓練(元亀・通所・丘の家・GH)
- 消防総合訓練(風和の里)



☆6月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は元亀の里・岩永ミネ様にお話を伺いました。

昭和2年、西彼町白似田に4人兄弟として生まれる。両親は農業を営み、芋や南瓜など色々な野菜を作っていたそうだ。子供の頃は近くの海で泳いだり、家の手伝いや弟・妹の面倒を見ていた。「海は綺麗でよう泳いだ。泳ぎも上手やったよ」「畑で芋ばいなわされたばってん、そりゃー重たかのなんの」とのこと。また小学校の頃には、同学年でただ一人健康優良児の賞を頂いたそうだ。

20歳過ぎると地元の男性と結婚する。米・キャベツ・キュウリ・スイカ・南瓜などを栽培し生計を立てていた。「百姓は思うたごとお金は取れんし大変やったばってん、苦労したとは思うどらん」「野菜ば作って収穫するとの面白かった」そうだ。夫は早くに亡くなり、その後は子供達が農業を手伝ってくれた。

現在、元亀の里入所中。「ご飯は美味しいし、職員さんのなんっちゃしてくるっしよかよ」とのこと。「誕生会のあってね、寿司の美味しいだった。昔は麦飯ばっかいやったけんね」。また、「こないだ子供たちの来たけんご飯の美味しいって言うたら、ご飯ば食べければ長生きするたいって言われたとばい」と話されていた。

リハビリには毎回参加され、自分のペースでボチボチと歩かれている。腰を温めながら田んぼや山を眺めることを好まれ、「今は特に何もしどうなか」「腰も痛うなかし、ゆっくりいしこうかね」とリハビリ室からの景色を眺められていた。



ゆっくりと過ごしてください。お誕生日おめでとうございます。

テ味
イが
のあ
力に
ま
ふ
れせ
てい
いひ
ま会
すを
。利
そ用
命活
れ力
活動
を皆
紹さ
介ん
すの活
る活氣
コ動
に元
ナは気
こ・
での持
バタ
。イカ
タ等
リの意

Vitality Space バイアリティースペース



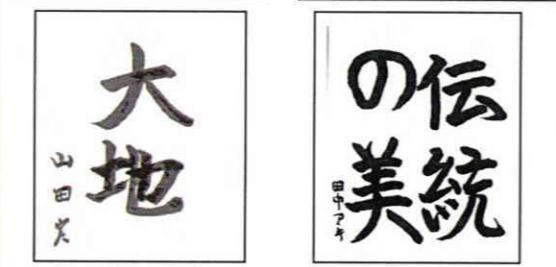
うたの時間

後姿 滴出 酒井
娘来 帰り際 ミネ
樂して かつたが
涙に 際に が
一要え 小らず
作時ら 鳥ぬ
作中和 なりの
和子 いで
娘 が
樂 が
涙 が
一 が
作 が
和 が

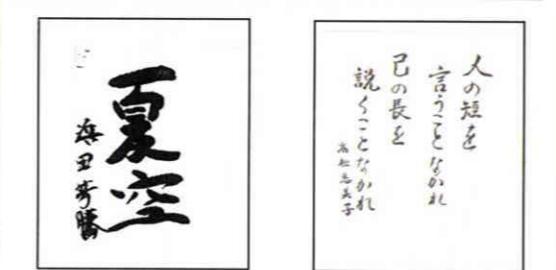
時朝計のはさくにや
一要え小らず鳥ぬ
作時らなりの
作中和 なりの
和子 いで
明けにや
一要え小らず
作時らなりの
作中和 なりの
和子 いで
明けにや
一要え小らず
作時らなりの
作中和 なりの
和子 いで



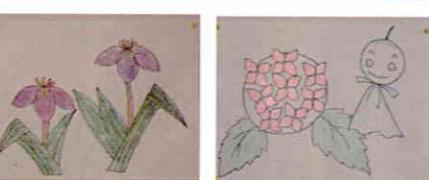
通所 山本一枝
丘の家 木村ムツ子



元亀 山田 実
風和 田中アキ



風和 濱田芳勝
通所 高松恵美子



グループホーム
今月の塗り絵作

寿限無

H23.1 Open

<http://seihikai-jugemu.doorblog.jp/>
毎日(?)更新中！



父の日(6月20日)

各事業所で思考を凝らした催しを行いました。
風和の里では「居酒屋」がオープン！！もんじゃ
焼きとビールで至福の時を味わっていただきました。
元亀の里では、なにやら怪しい動きが..「なつかしの映画」一生懸命見はまってます..。よくよく
見ると、なんと映画は「日活ロマンポノ」でした。
たこ焼きを食べる動作も止まっていました。



GH梅ちぎり(6月6日)

敷地内にある梅の木にたくさんの梅の実が生りました。皆でがんばって収穫し、ご覧のとおり。
早速、梅干しを作る為に、しその葉を注文しました。



丘の家・消防総合訓練(6月22日)

丘の家の入居者、通所利用者にご協力いただき消
防訓練を行いました。



ケアマネ 敏美の独り言

<ワールドカップサッカーを観て思うこと>

げんきに亀がやってきた。(6月10日)

朝、バイオパーク前あたりを車で出勤途中、道端の歩
道に「亀」らしきものを確認するも、それほどこのあたり
では珍しくないので、「亀？」と思いつながら通りすぎ
る。

制服に着替え、事務所に入ると私の机の上に、なに
やら発泡スチロールの箱が置いてある。
なんだろう?とそのフタを開けた瞬間、飛び上った。
なにやら動くものが…。
「亀だ！！」
それも出勤途中に見かけた、あの「亀」である。
なぜ、ここに?
事務所内の笑いで、すぐに察しがついた。
道端の「亀」を拾ってきたのは…。

早速、中庭の池へ。
「生き返った！！」と言ったかどうか判らないが、水中
を勢いよく泳ぎだした。

1~2時間くらいしてから、職員がなにやら騒いでいる。
池の周りに、職員や利用者の姿が…。
そして、ひとりの職員が私の元に走ってきた。
「たまご、たまご、生み始めました！！」
「たまご？？」

「亀」の産卵が始まった。
地面の土を、後ろ足を交互に動かし、器用に掘ってお
り穴は意外と深い。そして続けて生み始めた。「すご
い！はじめて見た！！」
歓声が上がった。
「まゆ」みたいな「たまご」が合計9個。
産み落とした「たまご」にきちんと土をかけると、何事
もなかったように池に入っていた。
産卵ご苦労様。
いったい、いつふ化するのだろう…?

支援相談員 Y



今、まさに大会開催中であるワールドカップサッカー。「我が母国日本」も奇跡ともいえる勝利を手にした。たかがサッカー（されどサッカー）であるが、観戦して思うことがある。やはり勝負の世界であるが「強い者・上手い者」が勝利を手にするわけではないという事。我が日本代表も決して強くはないが「勝利」を手にし、見事決勝トーナメント進出を果たした。なぜか？相手のコンディションもあるだろうし、相性もあるだろう。

日本の、とある選手が言っている「下手くそは下手くそなりの戦い方をする」と！！自分たちを「下手くそ」と言っているのである。そこに「勝機」があるのだろう。下手くそを自覚している人間は「とにかく一生懸命」である。逆に上手い人間は「油断」が生まれる。対戦相手を格下と思った時ほど「隙」が生まれる。

自身も高齢者福祉に携わってかなりの年月が経っていて、場数というか経験を数多く積み上げてきたつもりである。その自負はあるが、そこに「おごり」がないか？これからも「おごらず、油断せず」高齢者の為に「出来ることを一生懸命」やっていきたい。「福祉専門出身」ではない異端児の自分ではあるが、これからも「下手くそなりのやり方」で高齢者を微力ながらも支援していきたいと思った今月でした。